

富山経協



ノアサガオ 'オーシャン・ブルー' (解説・14ページ)

CONTENTS

- 2 TOP INTERVIEW
第一交易 西能 徹社長
- 4 西部地区会員懇談会
- 5 調査報告
2012年夏季賞与・一時金支給状況〈最終集計〉
- 6 特別講演録(佐々裕成氏／監督者基礎コース)
- 8 業務日誌
- 8 Keikyo行事レポート
- 11 参加者NOTES
- 13 新会員紹介
- 13 会員の動き
- 15 景況指標
- 16 おしらせ・行事予定

「らしさ」にこだわり できるまで言い続ける

第一交易株式会社
代表取締役社長

西 能 徹 氏



今年2月に創業60周年を迎えられましたが、会社の業態はどのようになっていますか。

内外装工事やリフォーム工事、土木建築資材販売などを行っています。現在の売上げ比率は、内外装が70%、リフォームが5%、建材が15%、コンクリート製造が10%となっています。

主要の内外装工事の状況は。

建物の天井・壁・床の下地施工から、クロス・天井・床材などの

仕上げ張りまでを行うのが内装工事ですが、今一番多いのが医薬品工場の内装です。クリーンルームのため、材料も特殊で、施工も通常より高度な技術が求められます。医薬品メーカーさんの工場建設を受注したスーパーゼネコン、中堅、地場のゼネコンさんから、当社が下請けとして内外装工事を受ける流れになります。佐藤工業さんとは一番長い付き合いです。これから期待できる仕事は。

ここ2～3年は新幹線整備に関する工事です。駅舎整備やホーム、白山車両基地の事務所などに壁や天井等の内装工事が出てきます。また、北陸では融雪ポンプ基地というものも結構あります。あと、既存の駅の改築や再開発事業の仕事も期待できます。

「信頼と高い技術力が強み」
下請けの立場として、特にスーパーゼネコンから受注されるポイントは。

第一交易に任せれば、決めた工期で良い品質でやってくれるという長年の信頼関係ですね。価格の高い安いはそれぞれありますが、恐らく価格以外のものだと思います。施工するだけでなく、ちょっとした気遣いのなか、環境への配慮や、他の様々な商品・施工方法をいくつも提案できることが当社の強みです。

今年度のテーマとされている「第一交易らしさの構築」ですね。

そうです。仕上がったものは誰がやっても見た目にはそんなに変わりません。しかし、スーパーゼネコンの建物は見えないところがぜんぜん違う。品質について譲れない所にはお金をかけてやっています。一例を挙げれば、耐震天井の特殊施工です。これには、知識、技術、実績が重要となり、北陸では当社がトップを誇ります。また、工期の細かい打ち合わせをしていくときに、迅速な対応や協力業者の確保、現場での徹底など、他社の担当者よりもうちの方がいいなと思われるような安心感というか、つまり人ですね。今度頼むなら、同じ単価なら、第一交易がいいなと思ってもらえるようなことがブランドづくり、「らしさ」なんですよ。

毎日する事

- ①挨拶は 自分から明るく 大きな声で
- ②ラジオ体操
- ③日報(報告・連絡・相談)

躰をつくる15の教え

- ①挨拶:「おはよう」は すべてのはじまり
- ②服装:決められた服装・身だしなみ
- ③安全:安全は すべてのごとに優先する
- ④保全:作業の前に まず点検
- ⑤品質:品質第一 信用第一
- ⑥作業方法:基本動作の励行
- ⑦5 S:すっきり ピカピカ職場と車
- ⑧衛生:食事の前に手を洗う
- ⑨健康:睡眠は十分に
- ⑩会議:会議資料は事前配布
- ⑪休憩:作業は厳しく 休みは楽しく
- ⑫防災:緊急時の連絡徹底
- ⑬通勤:交通ルールを守ろう
- ⑭管理者:率先垂範
- ⑮行動:5ゲン「現場・現物・現実・原理・原則」
3 即「即時・即座・即応」
3 徹「徹頭・徹尾・徹底」

—当たり前を書いて徹底— 品質管理体制の構築に向け、社員教育はどのように。

改善し業績を上げることを求める前に、社会人として当たり前のことを当たり前でできる人じゃないと役に立たないと信じています。必ずしてもらいたいことを「毎日する事」3つと「躰をつくる15の教え」にまとめ、事業計画書の一番見えやすい裏表紙に記載し、意識づけしています。

また、3カ月に1回の全体会議では、私からやりたいことを伝えますが、それができていないうちは、翌月も3カ月後も、できるまで我慢してしつこく同じことを言い続けています。よくコロコロと言ったことを変える人がいますが、できもしていないのに次のことを言っても何も変わりませんし、できません。

ただ、タイミングが大事です。社員が分かるようになってから言

わないと反発します。やってもらいたいことは、あらかじめきちんと書いてみんなに説明しておくことが大切です。それで、できていないと「ここに書いてあるじゃないか」と言えます。基本ができて初めてレベルを上げていく。経営理念や行動方針では、知識を増やし能力を伸ばし、人間性を磨くことを勧めています。

社長の「今月の一言」というのもその一環ですか。

社長就任2年目から始め10年くらい続いています。そのときに思いついたことや、本をたくさん読むのでヒントにしていますが、結構大変です。うちは社員教育を兼ね部長以上が毎週2人ずつ読書感想を発表しています。約1カ月に1回発表することになります。ジャンルはなんでもいい。バラエティに富んだ本を毎月、発表者10人分読んでいる感じです。

2008年に中部IT経営力大賞奨励賞を受賞されています。

2000年にこうえきネットという社内LANを構築しました。拠点をすべて結び、一人1台パソコンを置いて、見積もりから仕入れ、社内業務管理すべてを統一化しました。今では当たり前のことですが、当時は情報の開示なども含め評価していただいたみたいです。

—良いお付き合いが伝統—

社長就任から11年半経ち、創業60周年で会社のキャッチコピーを「for the one」とし、コーポレートカラーも変えられました。

次の世代を育てるためにプロジェクトチームを作って任せました。ただ社名は変えずに「第一に人と交わり易く、その人達と良いお付き合いが長続きすること」という祖父が掲げた志を引き継いで、キ

ャッチコピーは「あなたの一番になるために」となりました。

今後の展開は。

工場や事務所のリニューアル工事に注力したいと思っています。今までは造って壊して新しいものを建てるという時代でしたが、事務所も例えば骨組みは残して、性能を上げて使い勝手をよくするというような仕事を広げていきたいと思っています。環境づくりに奉仕するというのが経営理念で、事務所のエコや、フィルムを貼ったり太陽光パネルを取り付けたり、新しい提案を設備屋さんなどとタイアップして提案していく。1社ではできないことも、異業種とチームを作って取り組みたいですね。**座右の銘は。**

「過去は変えられないが、未来は変えられる」。変えるのは自分自身ですよと言っています。そうしないと未来は変わらないと、全体会議の最後には必ず言っています。

— 略 歴 —

1960(昭和35)年9月生まれ。南砺市(旧福野町)出身。福井工業大工学部卒業、鈴木工業入社。1989年第一交易に入社し、1995年取締役、専務を経て、2001年から現職。日本J C富山ブロック協議会第31代会長。

会社概要

第一交易株式会社

創 業: 1952年2月
所在地: 南砺市苗島4785
資本金: 9,800万円
事業内容: 建設業(内外装工事、注文住宅、リフォーム工事)、土木資材製造販売、建築資材販売
従業員数: 50人(2012年7月現在)
売上高: 31億1,000万円(2011年12月期)
事業所: 福野本店、富山本社、金沢支店、配送センター、コンクリート工場
U R L: <http://www.daiichikoeki.com>



笠井副会長



荒木県商工労働部長



西部地区会員懇談会



稲垣会長



綿貫副会長

7月12日(木)、会員企業から112名が参加して、西部地区会員懇談会をホテルニューオータニ高岡で開催した。

県内3地区で開催している会員懇談会は、毎回趣向をこらした企画で実施している。今回は、東北の文化・芸能を応援する意味を込め、津軽三味線演奏家の岡田修氏の独演会を開催した。

懇親会では、笠井西部地区担当副会長が開会の挨拶

をし、石井知事の来賓挨拶(荒木商工労働部長代読)をいただいた後、稲垣会長が「不確実の時代を切り拓いていくのは、常に経営者の先を見据える力にかかっている。環境の変化に対応し、事業転換などより大胆な経営姿勢が求められている中、経営者協会も皆さまのお役に立てる情報を提供していきたい」と挨拶し、乾杯した。会員相互の懇親を深め、綿貫副会長の中締めで散会した。



懇談会に先立つ会長副会長会議では、今後の行事内容や日程を審議し、富山地区会員懇談会は、新しくできた富山県のふるさとの歌「ふるさとの空」の製作総合プロデューサーである須藤晃氏(射水市出身)を招いて9月12日に、東部地区会員懇談会は11月12日に開催することを決定した。

北陸三県経営者協会正副会長会議

7月6日(金)、2012年北陸三県経営者協会正副会長会議を、北陸三県の経営者協会正副会長15名が出席して、石川県の(株)P F U ProDeSセンターにおいて開催した。富山経協からは、稲垣会長含め6名が出席した。

石川経協 菱沼会長より開会の挨拶の後、輪島副会長より、(株)P F Uの創業からの沿革と、世界No.1シェアとなったスキャナ事業を巡る経営判断等について、①1960年ウノケ電子工業として創業し多

機能パソコンの開発と販売を開始した ②1987年にP F Uに社名変更し富士通グループの生産会社として発展してきた ③2001年に富士通からスキャナ事業を買収し開発・生産・サービスまでを一手に手掛ける体制を整える ④2002年には富士通の生産会社から脱却しスキャナ事業に特化し、現在は世界シェア60%、100カ国以上の国と地域で販売・サービスを提供するまでになったなどの説明を受け、スキャナの生産部門を見学した。



その後、場所を河北亭に移して、情報交換の懇親会を行った。石川経協 菱沼会長が挨拶し、福井経協 山崎会長の挨拶で乾杯。19時過ぎ次期開催県である富山経協 稲垣会長の中締めで散会した。

2012年夏季賞与・一時金支給状況〈最終集計〉

1. 県内

126社平均435,057円、昨年比微増

当協会は「2012年夏季賞与・一時金支給状況」（単純平均・最終集計）をまとめた。その結果は、集計可能な126社の支給額平均は435,057円で、今回回答のあった企業の昨年夏の支給額（430,720円）と比べて、金額で4,337円増加し、率でプラス1.01%となっている。

業種別では製造業が425,359円（昨年比0.27%増）、非製造業が446,427円（昨年比1.84%増）であり、非製造業が金額・率ともに上回っている。製造業では、昨年比減少した業種の方が多くなっている。（表1）

2. 全国大手

160社平均703,580円、 昨年比2.1%減 — 3年ぶりのマイナス

日本経団連が7月26日に取りまとめた「2012年夏季賞与・一時金妥結結果」（単純平均・最終集計）によると、調査対象の全国大手企業（主要21業種、大手247社）のうち、集計可能160社の妥結額平均は703,580円で、2011年夏の最終妥結実績（158社、平均718,696円）と比べて、金額で15,116円減、率で2.10%減と、3年ぶりのマイナスとなった。（表2）

業種別では、製造業・非製造業いずれもマイナスであるが、製造業のほうがマイナス幅は大きくなっている。

（表1）県内企業の2012年夏季賞与・一時金支給状況〔単純平均〕
〔最終集計〕

（一社）富山県経営者協会

業種	社数(社)	2012年夏季支給額(円)	2011年夏季支給額(円)	前年同期比(%)
織 維	3	494,729	493,613	0.23
印 刷	2	258,121	277,971	△7.14
化 学	12	543,295	556,014	△2.29
プラスチック製品	6	352,271	305,425	15.34
鉄鋼・非鉄金属	3	542,667	546,667	△0.73
金 属 製 品	9	404,748	418,323	△3.25
一般機械器具	13	407,568	410,931	△0.82
電気機械・電子部品	6	331,122	364,094	△9.06
輸送用機械器具	3	549,681	550,226	△0.10
その他製造業	11	371,447	338,332	9.79
建 設 業	8	281,104	268,575	4.66
電 気 ・ ガ ス	3	761,228	795,184	△4.27
運 輸 ・ 倉 庫	10	375,939	370,341	1.51
情報サービス・通信	8	595,708	586,631	1.55
卸 ・ 小 売	16	425,005	412,938	2.92
金 融 ・ 保 険	2	477,237	468,110	1.95
サービス業・その他	11	461,880	450,129	2.61
総 平 均	126	435,057 (484,833)	430,720 (488,909)	1.01 (△0.83)
製 造 業 平 均	68	425,359 (456,536)	424,197 (459,091)	0.27 (△0.56)
非 製 造 業 平 均	58	446,427 (517,955)	438,367 (524,224)	1.84 (△1.20)

（注）

- ①調査対象は441社、うち集計可能な回答のあった126社の数値である。
「2011年夏季」は今回回答のあった企業の昨年同期の数値である。
- ②平均欄の上段は一人当たりの単純平均、下段の（ ）内は一人当たりの加重平均である。
- ③前年同期比の△印はマイナスを示す。

（表2）全国大手企業の2012年夏季賞与・一時金妥結結果〔単純平均〕
〔最終集計〕

（一社）日本経済団体連合会

業種	2012年夏季		2011年夏季		前年同期比(%)
	社数(社)	妥結額(円)	社数(社)	妥結額(円)	
総 平 均	160	703,580 (771,040)	158	718,696 (791,106)	△2.10 (△2.54)
製 造 業 平 均	135	698,433 (767,268)	132	713,406 (793,030)	△2.10 (△3.25)
非 製 造 業 平 均	25	731,377 (783,768)	26	745,552 (785,008)	△1.90 (△0.16)

（注）

- ①調査対象は主要21業種・大手247社。東証一部上場、従業員500人以上が原則。
「2011年夏季」は昨年の本調査の最終集計結果である。
- ②上段は一人当たりの単純平均、下段の（ ）内は一人当たりの加重平均である。
- ③前年同期比の△印はマイナスを示す。

特別講演 (要旨)

企業理念について

一般社団法人 富山県経営者協会 副会長

YKK株式会社 副社長 黒部事業所長 佐々裕成氏



◆はじめに

世界の状況、そして日本を取り巻く環境は、今、先が見えないという話をよく聞きます。そして、日本だけで完結したモノづくりはほとんどないと言っていいと思います。大きな意味でのサプライチェーンの中で、日本だけで経済は存在しえません。世界の中の日本ということ为先ず認識しましょう。

先がなかなか見えないと言いましたが、本当に良い時の日本をつくってくれた松下幸之助、本田宗一郎、そして私どもの創始者である吉田忠雄の頃(大正から昭和にかけて)も、世界中が混乱していました。社会、経済、政治が変わり、先が見えない中で、何をしなければいけないか、この悩みを今、私たちYKKは持っています。

今、YKKは何をしようとしているかと言うと、まず原点に戻ろう。創始者吉田忠雄の時代も先が見えなかった。吉田忠雄は何を考え、何を決断し、どう行動してきたかということ、今一度思い起こすと、何かヒントが有るのではないか、このように考えて、その一旦を皆さんに話をさせて頂きたいと思います。

◆吉田忠雄語録

創業者吉田忠雄がずっと言い続けてきた言葉があります。

「善の巡環」他人の利益を図らずして自らの繁栄はない。「事業活動の中で発明や創意工夫をこらし、常に新しい価値を創造することによって、事業の発展を図り、

それがお客様、お取引先の繁栄につながり社会貢献できるという考え方」。常に事業活動の根幹があり、YKK精神として受け継がれていますが、若干薄くなっている。そのため今、原点を振り返ろうということをやっています。

吉田忠雄は、正月明けに全社員を集めて約3時間半、一人でしゃべっていました。その時に言ったことは1年間毎日、言い続けていました。最初は反発している部下たちも、1年間毎日同じことを言い続けられると、そうかなという人間の心理の不思議さです。

「金儲けより人儲け」吉田忠雄がものすごくこだわったのが、現地・現場主義です。何か問題があったら、現物を見よ、現地へ直ぐ行け。現場はどうなっている？現場の人たちはどう考えている？本当に仕事に携わっている人の話を聞きたがりました。それが管理職の勤め、トップの勤めです。

「頭に絵を描け」何かをしたいと思ったら、こうしたいなという最終形を描け。最近よく、有るべき姿と聞きますが、有るべきなんて無いんです。有るべきというのは、自分の頭の中でどうしたいかということです。どんどん時代は変わります。価値観は変わります。こうしたいんだというものを一人一人が頭の中に絵を描く。一人一人が違っているからこそ色々な論議が生まれるんです。

「額に汗しろ」管理職だからって喋ってばかりおるな。現場を

走り廻れ、額に汗しろ。

「失敗しても成功せよ」。……

◆YKKの特徴

そういうことを含めて、今のYKKを簡単に紹介させていただきます。

「大きくて、小さい会社」。どちらかというと大企業の部類ですが、やることは小さいことを丹念に。現場、技術に会社の大小は関係ありません。社員の一人一人がいろいろなやりたいことをやらせてもらえる会社。世界的でローカルな会社。現地、現場を忘れない、あくまで現場が大事。ケチだけど使いつぶりがいい会社。問題が起きたら、みんなで助ける、助けてきたという会社です。

結果どうなったか、世界71カ国/地域すべての国で、お客様から信頼を頂いて、利益を上げ、納税をさせて頂いています。

「慎重で大胆な会社」。立案・計画・実行と書いてあります。私なりに表現すると、小さく産んで大きく育てる。いろいろなアイデアがあったら、小人数で、装置も商品も小さくやってみる。それで失敗もしながら、ノウハウをつかんで、さあ行けるといふ時には、使いつぶりのいい会社です。

YKKグループはファスナーを中心とするファスニングと、窓を中心とする建材、この2つの本業で成り立っています。本業の競争力をつけるために、工機技術本部があり、ファスナーやアルミサツ

シ、窓を作る設備の開発、製造をして、世界中で同じ品質の商品を作れるように提供しています。

ファスナーは、金属、コイル、樹脂などたくさんの種類があります。色も1万色以上。黒だけでも20数種類あります。全部、コンピュータでスペクトル解析して色合わせしてお出ししています。

YKKが世界71ヵ国／地域で事業をさせてもらっている一番大きな理由は、世界どこで調達しても同じ品質のものを供給できるという利点があります。世界展開する巨大メーカーは、世界中に調達をかけます。それらの品質、色すべて一緒なものを提供できるのは、今はYKKしかありません。

◆品質へのこだわり

冒頭に申し上げた本題に入ります。吉田忠雄の時代、今の私たち以上に見えない時代だったと想像します。しかし、吉田忠雄は自分の信念を持ちました。そして、行動をしました。

その入り口がここにあります。吉田忠雄はファスナーをつくりました。1940年代は1個ずつエレメント（務歯）を手で付けていました。1950年に、これが吉田忠雄です。アメリカからチェーンマシンを買い、普通だったらファスナーを作るところ、どうも色々やってみたら、回転数も2倍、3倍になる。もう少しここを直していったらもっといい商品になりそうだと、全部分解してスケッチして、あそこもここも直そうと、工機が生まれました。

YKKはどんどん機械を改善、改良しながら、自動機を作っています。しかもYKKが開発したチェーンマシンは、100Gくらいの恐らく世界で最高レベルのGを有する機械です。それを自ら開

発し、今も生産し、世界に供給して、世界各地で使いこなしています。これがYKKファスナーの強さの一因だろうと思います。

同じ仕事をするのでも、もっと良くなる方法はないか、現場の中で何が問題か、技術者が現場を走り回って意見を聞きます。そして自分で見て納得をします。吉田忠雄の生き方です。現地・現場にこそ宝があります。

アルミに移ります。YKKは銅を主体としたファスナーをつくっていたため、鉄材やアルミを伸ばしたりする技術を持っていました。その技術がアルミサッシ製造に役立つのではないかとやってみたら、できました。それで、大きな圧延機を輸入し、これも先程と一緒に、問題あるから作ろうやないか。で、やっぱり作ってしまいました。

これだけの凄いことをやってみようか、やってみようね、というところはYKKのいいところです。こういう開発には、やはり余裕、遊び心がなければいけません。ここにおられる中堅管理職の皆さん方もそうですし、部長さん役員の皆さんも、担当者もそう。仕事の中には、どこかに遊び心がないと、頭に絵を描けません。

◆地域社会、地球環境とともに

先程、善の巡環と言いました。企業は企業だけで生きるものではなくて、地域の皆さんと一緒に生きて生きるものと私たちは考えております。それとこれからは、環境について自然界との共生、地球社会と共にというキーワードの中で、世界で活動をしています。

YKKグループでは、ツリープランティングディ、植樹をしています。世界71の地域で一斉に社員が地域の皆さんと一緒に植樹をしたり、自然の生態系をどう

やって維持しようかという活動もしています。また、医療活動、教育活動、こういうことを世界中で展開しています。

黒部事業所では産業観光をやっています。YKKの技術、歴史、創業吉田忠雄の生き様というものを感じて頂ければ嬉しいです。

黒部川扇状地の自然をとり戻そうと、我々が原点に戻ると共に、工場も森の中の工場として、黒部川扇状地の原風景を再生しようとして、地域の皆さんと一緒に工場の周りにふるさとの森をつくっています。

◆更なるコーポレートバリュー

今、YKKグループでは、経営理念「更なるコーポレートバリューを求めて」、社員一人一人が大切にして実践する価値観、「人づくり」失敗しても成功せよ、信じて任せる、「モノづくり」品質にこだわり続ける、「関係づくり」一点の曇りなき信用、こういうことを掲げています。

今、我々は本当の意味でここへ行きたいのです。この原点は、吉田忠雄が描いたYKKをこうして行きたい、世界に出て行きたい、出て行く前に、ファスナーを使って頂くお客様に品質も価格も種類も機能も満足して頂けるファスナーを「わしゃ、作るんじゃ」と、この揺るぎない夢を持って、揺るぎない決断をして、そのために全勢力を傾けました。そして、そのことに共鳴した多くの人たちが吉田忠雄を盛り上げ、私たちの年代、また次世代の人たちへも、その考えを繋いでいくことによって、今の見えない世の中を一人一人が見えるようにしていく。

見えないからと言っていただけでは最後まで見えません。見えるようにするのは皆さん方一人一人なのです。

業務日誌

2012年6月6日～8月5日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	総務交流委員会	総務	6月12日(火)	富山電気ビル	21名
	労働法関連法制研究部会(第1回)	人事・労務政策	6月19日(火)	富山経協・研修室	13名
	教育委員会 研究部会(第1回)	教育	6月20日(水)	富山経協・研修室	8名
	教育委員会「定例委員会」	教育	6月20日(水)	富山経協・研修室	12名
	経営企画委員会	経営企画	7月3日(火)	富山経協・会議室	10名
	北陸三県経営者協会正副会長会議		7月6日(火)	石川県PFU ProDeSセンター	5名
	会長・副会長会議		7月12日(木)	ホテルニューオータニ高岡	5名
	西部地区会員懇談会		7月12日(木)	ホテルニューオータニ高岡	115名
	教育委員会 研究部会(第2回)	教育	7月19日(木)	(株)パワー・アンド・IT	10名
	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	7月24日(火)	武内プレス工業(株)滑川本江工場	21名
	環境委員会 情報交換会(第2回)	環境	7月27日(金)	富山経協・会議室	7名
セ ミ ナ ー ・ 講 座	中堅社員活性化コース	教育	6月6・7日(水・木)	富山商工会議所ビル	56名
	「IE手法」による生産現場の改善コース	教育	6月13日(水)	富山商工会議所ビル	36名
	品質工学実践講座	品質管理	6月15・7月6・27日(金)	富山経協・研修室	22名
	グローバル人材育成講座	経営企画	6月18日(月)	富山経協・研修室	15名
	労働法実務研修会(第1回)	人事・労務政策	6月19日(火)	富山商工会議所ビル	53名
	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	6月21・28・7月5・19・26 8月2日(木)	富山経協・研修室	26名
	監督者(係長・主任・班長)基礎コース	教育	7月3・4日(火・水)	富山商工会議所ビル	91名
	B C P 事業継続計画作成セミナー	経営企画	7月9・30日(月)	富山経協・研修室	29名
	部課長マネジメントコース講座	品質管理	7月11～13日(水～金)	山田交流促進センター	22名
	人事労務管理セミナー(第2回)	人事・労務政策	7月24日(火)	富山経協・研修室	17名
「地球温暖化対策」セミナー	環境	7月27日(金)	富山商工会議所ビル	26名	

経営企画委員会

■2012年度 第2回委員会

7月3日(火)、守山委員長はじめ委員10名が出席して、富山経協・研修室で開催し、「グローバル人材育成セミナー」、「BCP事業継続計画作成セミナー」について審議を行った。

守山委員長より、経営企画委員会の新しい役割として経営課題に関する研修を本年度から開始することとなった。2つの研修について事務局案を基にご審議をいただ



きたいとの挨拶があった。事務局より、①グローバル人材育成セミナーは県との共催により6月18日に15名が参加して開催した。今後は会員個別の要望に対応した研修

を行っていく ②BCP事業継続セミナーはBCPが作成されていない企業を対象に、研修に参加すれば最低限のBCPが作成できることをねらいに、7月9日より29名が参加して3回シリーズで開催する予定。研修で作成するBCP計画書のたたき台を配布したので意見等をいただきたいとの説明後審議を行い、①グローバル人材育成セミナーは今後の予定が決定すれば委員に案内をメールすること ②BCP事業継続計画作成セミナー

ーは計画書のたたき台について、こうしたらどうか等の意見を事務局に連絡することを決めた。次回委員会は10月3日に開催する。

■グローバル人材育成講座

6月18日(月)、「中国でのマネジメントとビジネスコミュニケーション」をテーマに15名が参加して富山経協・研修室で開催した。

本講座は、グローバル化が進展し、国内需要が縮小していく中、企業が今後も活力を維持していくためには、海外展開により中国など環日本海諸国や東南アジア、インドなどの新興国等の成長エネルギーを取り込んでいくことが重要であり、中小企業においては海外展開を担う人材の育成が喫緊の課題となっていることから開催した。



講師の(一財)海外職業訓練協会(OVTA)仙波慶子国際アドバイザーは、中国の市場や企業進出の現状、信頼関係の築き方、管理のポイント、契約行為や売掛金の回収などの企業運営のリスク対策などについて、詳しく解説した。

人事・労務政策委員会

■労働法実務研修会(第1回)

6月19日(火)、「非正規社員(パート、アルバイト、契約・嘱託社員、派遣・業務請負、定年後再雇用等)をめぐる法律実務」をテーマに、53名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。

非正規社員が増加し就労人口に

■BCP事業継続計画

作成セミナー

7月9日(月)、29名が参加して富山経協・研修室で開催した。

自然災害や緊急事態の発生は、事業の存続に多大な影響を与えることから、的確に対応して早期に事業を復旧し、事業継続を可能にするため、事業の規模や業種に関わらず、事前にBCP(事業継続計画)を作成することの必要性が高まっている。今年3月に当協会会員を対象に調査を実施したところ、6割の企業が策定済み、または予定と答え、先行する他社事例を学び、受講者の相互啓発を通じて自社版BCPを作成するための



勉強会を開催してほしいとの要望が多数寄せられたことから、今年度から本セミナーを新設した。

ヒューマックス経営考房の羽田野正博代表を講師に、事例や演習を通して実践・応用できるように講義が進んでいる。7月30日に自社版BCPを作成した。8月21日には事例研究と発表を行う。

総務交流委員会

■第1回委員会

6月12日(火)、武内委員長はじめ委員20名が出席して、旧総務委員会と旧文化交流委員会が統合した総務交流委員会の第1回委員会を富山電気ビルで開催した。

武内委員長の挨拶、北陸電力からのお知らせ(今夏の電力需給状況、志賀原発の安全強化策)の後、武内委員長が議長となり議事を行った。①委員会設立にあたり「総務交流委員会規則(案)」を事務局より説明し、承認された。②今後の事業予定について事務局より説



明し、承認された。③会員企業従業員間のより積極的な交流を進めるための交流事業に取り組んではどうかとの提案があり、これまでの他委員会の経緯も踏まえ、事務局で検討することとなった。

占める割合は大きくなっており、雇用形態に応じたきめの細かい人



事・労務管理が強く求められている。一方、労働者派遣法はこれまでの規制緩和とは逆方向で、企業に対する規制強化の法改正(派遣先による直接雇用の見なし等)が行われ、高年齢者雇用安定法や労働契約法においても使用者に対する規制強化となる改正法案が国会に提出されるなど、今後の懸念される。こ

のような状況から、非正規社員をめぐる法律実務について、経営法曹会議、第一東京弁護士会の伊藤昌毅弁護士が、裁判例や具体的ケースを踏まえた使用者の留意点と、関係する法改正の内容・動向を、分かりやすく解説した。

・労働法関連法制研究部会(第1回)

6月19日(火)、13名が出席して富山経協・研修室で開催した。本研究部会は、経営法曹会議、第一東京弁護士会の伊藤昌毅、木下潮音両弁護士を講師に年4回開催し、判例研究などを行う。

第1回目のこの日は、自主退職しなければ懲戒解雇されると信じ

てなした退職の意思表示は、錯誤により無効とされた「富士ゼロックス事件」について研究した。

■人事・労務管理セミナー(第2回)

7月24日(火)、「人事考課の見直し・運用と賃金への反映のポイント～会社と社員の活力を高めるために～」をテーマに、17名が参加して富山経協・研修室で開催した。



講師の公益財団法人日本生産性本部代表経営コンサルタント 元井弘氏は、厳しい経営環境の中で、人事制度は事業や経営を支え、社員のやる気を引き出し、活力ある組織づくりに貢献する制度と運用が重要である。人事考課やそれに基づく賃金運用に問題がある処遇では、不満は募り会社の活力は生まれないとし、対策として「適切な人事考課の制度の見直し・運用のポイント」と「賃金制度への反映のさせ方のポイント」について、具体的ケース事例を交えて詳しく解説した。

教育委員会

■定例委員会

6月20日(月)、金岡委員長はじめ委員11名が出席して、富山経協・研修室で開催した。



金岡委員長は、①苦境に耐えてブレイクスルーしていく人材の育成は大切である。革新的な人材は視野が広く多面的な能力が求められている。②問題点が表面化することにより余裕がなくなり、教育にかける時間もなくなる悪いスパイラルに落ちていく。社員教育が経営課題としてプライオリティの高い位置付けにしていくことを議論していきたいと開会挨拶した。

研究部会活動は、「現場力の向上と教育」をテーマに12社で立ち

上げ、部会長に(株)不二越 戸田研修センター長、副部会長に(株)インテック 中川総務部長、トナミ運輸(株) 高田教育部長、北陸電力(株) 坪野研修センター所長が就任した。

講座・セミナーについては、4～6月の実績を報告した。女性社員活性化セミナー、今年度新たに企画・実施する「ものづくりと現場改善」実践塾(8月28日～29日の1泊2日で開催)、管理職マネジメント研修(9月から開催)へ、各社からの参加を要請した。この後、委員企業の「現場力の向上と教育」について意見交換を行った。各社の実践事例や問題・課題は、研究部会活動に反映させる。

・「現場力の向上と教育」研究部会

6月20日(月)、9名が出席して、富山経協・研修室で開催した。

部会設置に至る経緯について事務局から説明後、各社の実情と問題点・課題について発表した。

また、7月19日(木)に第2回研究部会を、10名が出席して(株)パワー・アンド・ITで開催した。

高柳栄二取締役技術部長から、立地や免震構造、非常用電源、空調サービス、インフラ設備などの説明を受け、施設を見学した。その後、現場力の定義付け、課題・問題の層別などについて意見交換を行った。



■ I Eによる生産現場の改善

6月13日(水)、36名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。



講師の(社)中部産業連盟 三木素直 上席主任コンサルタントは、世界に伍してゆくモノづくりのためには、“絶えざる改善”が必須であることから、現場のムダとり・効率的なモノづくりの改善手法として有効な I E の基礎手法である、稼働分析、時間分析、動作分析、及び工程の配置と物の流し方などについて解説。成果を上げてゆくための現場改善のコツを、実際に

活用できることを目指し、事例や演習を通して学習した。

■ 監督者 (係長・主任・班長) 基礎コース

7月13・14日(火・水)、91名が参加して、富山商工会議所ビル大ホールで開催した。

(一社)日本産業訓練協会 渡辺和彦 MTP・TWA インストラクターの指導により、経営環境が激変するなか、企業目標を達成するため、今回は、職場の活性化と態度能力向上に力点を置いた研修プログラムとし、レクチャーに加え、グループによる事例研究や発表、今日的課題に対する意見交換などを活発に行った。

また、(株)不二越 町 哲司 サーモテック事業部技術部長から「プロジェクト型取り組みのすすめ 実務型職場リーダーの育成」と題し



た発表があり、その後、各社の部下育成について情報・意見交換を行った。

2日目には、当協会副会長の Y K K (株) 佐々裕成 副社長 黒部事業所長から「企業理念について」(講演内容は、6・7頁に掲載)と題した特別講演を聴き、先の見えない時代の企業経営と今日的マネジメントのあり方について学んだ。

(「参加者NOTES」11頁に掲載)



参加者NOTES

教育委員会

「監督者基礎コース」を受講して

立山科学工業株式会社
ITソリューションビジネスユニット 森川ますみ



本講座は、現在の企業風土、管理者の役割、人間行動のしくみなどを理解した上で、管理者が必要なマネジメントの4側面(問題解決、管理のプロセス、部下育成、信頼関係形成等)についてグループ論議を行い、態度能力(仕事に取り組む姿勢、人に接する接し方)との関係や重要性を直感的に気付かせ、自分の態度や行動を変えていき、最終的には職場を変えようとするプログラムでした。

たった2日間の受講でしたが、内容は盛り沢山で、自分を変えることで職場が少しでもより良いも

のになればいいなという思いで一杯になりました。それと同時に、管理者に必要な態度能力を身につけるのは大変だと思知らされました。

「自分の持っているすべてを部下、後輩にタスキリレーする」という気持ちで指導しているだろうか/どんなときでも相手の立場に立って、物事を考えているだろうか/相手の話を真剣に聞いているだろうか/自分がなにをすべきかを考えながら聞いているだろうか/忙しい時に周りに声掛けをできているだろうか/仕事を任せた相手が納得

しているだろうか/職場の一人一人に愛情を持って接しているだろうか/固定観念で人を見ていないだろうか/仕事とはなにか/問題をスムーズに解決しているだろうか等。

また、今回受講してみて、上司や先輩方にも実践されている方々があり、その先輩方に今まで日々指導を受け、自分も成長してきたのだと実感することができました。

今までの態度や行動を見直し、改善し、「自分の持っているすべてを部下、後輩にタスキリレーする」という熱い気持ちを忘れずに、精進していきたいと思います。

渡辺講師の講義、(株)不二越 町 技術部長の企業事例発表、佐々 Y K K 副社長の特別講演を受講できとても幸運でした。ありがとうございました。

品質管理委員会

■定例委員会

7月24日(火)、町野委員長はじめ委員20名が出席して、武内プレス工業(株)滑川本江工場で開催し、下期に開催予定の経営トップミーティング、ものづくり品質管理セミナー等について、日時、内容、講師等を審議し、決定した。

委員企業見学では、武内プレス工業(株)製造本部滑川本江工場の田村工場長から、企業概要、包装容器事業の概要、品質管理取り組み



状況について説明を受け、エアゾール缶やアルミチューブ等の製造工場を見学した。見学後、質疑応答ならびに意見交換を行った。

■部課長マネジメントコース講座

7月11日(水)～13日(金)2泊3日で、22名が参加し、山田交流促進センターを会場に開催した。

本講座は、次代を担う部課長として企業のおかれた状況を正しく認識し、会社方針に基づいて自らの役割を果たすために問題点の発見とその改善方法について実践的に学ぶことを狙いとしている。

最初に、玉川大学工学部長 小野道照氏から「改善の捉え方と進め方」と題して、改善を進めるためには、物事を客観視(バイアスを取り除く)することや、改善の



先延ばしはリスクが大きいことなどを学んだ。

引き続き特別講演として、コーセル(株)相談役 鈴木晴氏より「部課長に望むこと」と題して、部下育成のポイントとなることを、自らの経営者としての経験談などを交えて講話いただいた。

続いて講義に入り、M&P研究所代表 棚邊一雄氏から「部課長のマネジメント」と題して、リーダーの資質として「上司は部下の

参加者NOTES

教育委員会

「部課長マネジメントコース講座」を受講して

北陸電機製造株式会社
品質保証部 品質管理課長 岡島 宏明



上司から本コースの受講を持ちかけられ、過去に参加した先輩方の話を聞いたところ、精神的にも肉体的にも大変厳しい講習であるが自分のためになると教わり、不安と期待の両方の思いを持って受講することにしました。

研修内容は、講義とグループディスカッションで構成されており、講義については玉川大学の小野先生から「改善の進め方」、コーセル(株)の鈴木相談役から「部課長に望むこと」、M&P研究所棚邊代表から「変革の時代を担う部課長のマネジメント」がありました。

「改善の進め方」においては、

今起きている問題の本質をしっかりと見極め、QC手法を活用して問題解決していく方法をいろいろと学び、「部課長に望むこと」においては、上司と部下の信頼関係の重要性、部下の能力を引き出すことが上司の役目であること、部下に仕事を任せる勇気など、いずれも自分に不足していると痛感するとともに、上司として大変重要であることを再認識させられました。

また、「変革の時代を担う部課長のマネジメント」においては、企業における部課長の役割や経営管理手法を学びました。

特に印象に残った言葉は、コー

セル(株)相談役の講義で教わった「山本元帥の名言」であり、部下の育成において改めて自分に何が足りなかったのか痛感するとともに大変感銘を受けました。

グループディスカッションでは、異業種の同じ立場の人達と、事前の宿題であったそれぞれの問題点を出し合い、夜遅くまで討議を重ねて問題の共有化を図りましたが、「まだ問題点の絞り込みが浅い」との指導を受け、再度、本質を洗い出すべく討議に入りました。その中で問題点を深掘りすることにより見えてくる問題点の本質、自責の念で問題を解決することの重要性を学ぶことが出来ました。

今後は、常に自責の念で問題を深掘りし、問題の本質を追及して真の問題解決に向けて、部下を信じ、一緒に問題を解決していくことを念頭におきながら、仕事に取り組んでいきたいと思っております。

ために存在している 部下が育たないのは上司の責任」であることを学んだ。

グループディスカッションでは、「変革の時代を担う部課長の役割」をメインテーマとし、異業種、異職種のメンバーで部課長としての問題点の認識と、その問題解決までのストーリー展開にかなり苦労していたが、受講者は、講師・世話人の指導を受け、互いに皮むけるべく奮闘し、チームワークの大切さも含め、手応えをつかんで講座を修了した。
(「参加者NOTES」12頁に掲載)

環境委員会

■第1回地球温暖化対策セミナー

7月27日(金)、(一財)電力中央研究所社会経済研究所 主任研究員 若林雅代氏を招いて、「温暖化防止のための企業の自主的な取り組みは有効か」と題して、富山商工会議所9階会議室において開催し、会員企業の環境部門を中心に26名が参加した。

若林講師は、企業の自主的な取り組みの実効性に関する事例分析を踏まえ、温暖化対策において期待される効果や可能性について分か



りやすく解説し、受講者からも専門的な質問が出るなど、地球温暖化対策に対する理解を深めた。

本セミナーの第2回は9月に開催し、引き続き事例発表会を11月に開催する予定である。

会員の動き

(50音順) (敬称略)

■ 代表者の変更

株式会社 北日本新聞社

代表取締役社長 板倉 均 (前:河合 隆)

笹嶋工業株式会社

代表取締役社長 笹嶋 明人 (前:笹嶋正八)

シロウマサイエンス株式会社

代表取締役社長 濱田 哲郎 (前:石川春男)

新光硝子工業株式会社

代表取締役社長 新海 伸治 (前:稲船幸夫)

大和薬品工業株式会社

代表取締役社長 菰原嘉一郎 (前:大間知恭二)

田中精密工業株式会社

代表取締役社長 岩井 逸雄
(前:代表取締役会長 田中一郎)

堤商事株式会社

取締役社長 石黒 達郎 (前:上野 勉)

東ソ・ゼオラム株式会社

常務取締役工場長 徳永 節生 (前:熊澤信光)

富山共同自家発電株式会社

取締役社長 三鍋 光昭 (前:松岡幸雄)

株式会社 富山村田製作所

代表取締役社長 藪田 聡 (前:井上 純)

株式会社 パナソニック 富山

支店長 渡邊 伸 (前:磯田 誠)

富士ゼロックスマニュファクチャリング株式会社 富山事業所

執行役員事業所長 三浦 兼能
(前:常務執行役員事業所長 岡本佳和)

北電産業株式会社

取締役社長 塩谷 敏文 (前:柿田 彰)

株式会社 北陸化成工業所

代表取締役社長 中山 浩光 (前:中山親光)

新会員の紹介

(50音順)

■ 株式会社 ホンダ自販タナカ

所在地 富山市清水元町5番1号
代表者 代表取締役社長 田中 龍郎
設立 1977(昭和52)年4月22日
資本金 6,000万円
従業員 71名
事業内容 Honda車自動車販売、中古車販売、自動車整備及び車検・点検、損害保険代理店業務



北陸電気工事株式会社

代表取締役社長 松岡 幸雄 (前:高田憲一)

北陸電力株式会社

代表取締役副社長 三鍋 光昭 (前:松岡幸雄)

株式会社 北陸電力リビングサービス

代表取締役社長 三瀬 隆 (前:佐々木輝明)

北陸発電工事株式会社

代表取締役社長 若宮 真自 (前:金井 豊)

米原商事株式会社

代表取締役社長 内記 正弘
代表取締役専務 米原 久晴
(前:代表取締役社長 米原 蕃)

■ 役職位の変更

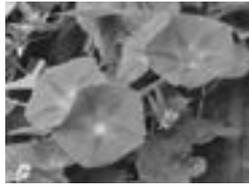
日産化学工業株式会社 富山工場

常務取締役工場長 大野 隆己 (前:取締役工場長)

■ 社名の変更

株式会社 アイザック (前:石崎産業株式会社)

矢崎エナジーシステム株式会社富山支店
(前:矢崎総業株式会社富山支店)



表紙の花

ノアサガオ ‘オーシャン・ブルー’

最近、省エネ対策として「緑のカーテン」が人気です。毎年5月頃の園芸店には、ニガウリ（ゴーヤ）を筆頭にカボチャ、ヘチマ、アサガオなどつる性の植物が並べられ、夏になると店舗や個人宅に様々な「緑のカーテン」が見られます。植物園でも2010年から入口正面のサンライトホールの壁にノアサガオの品種‘オーシャン・ブルー’を植栽し、文字通り壁一面が緑に覆われた状態になっています。

ノアサガオは日本古来のアサガオとは別の種類で、別名琉球アサガオ、宿根アサガオといえます。沖縄原産で、つるは長さ（高さ）10m以上にまで伸び、旺盛に繁茂します。種はほとんどできませんが、多年生で本州でも関東以西の暖地では越冬することができます。富山では外で冬越しすることはできませんが、挿し芽で作った苗を室内に入れて0℃以上を保てば、また来年植え付けることができます。

‘オーシャン・ブルー’は多花性房咲きの突然変異品種で、直径10cmの青色の花を多数着け、時間とともに青紫から赤紫に変化します。花は普通のアサガオよりも長持ちし、真夏でも昼頃まで咲いており、秋になると翌日まで咲き残っていることもあります。花期も長く、10月から11月頃まで咲き続けます。

植物園では今年、駐車場から入口までの間の通路にもネットを張り、多様な「緑のカーテン」植物を展示しています。果実も楽しめるナタマメ、大ヘチマ、ニガウリ、クダモノトケイソウ、面白い花をつけるアリストロキア・ギガンテア、パイプカズラ、スネール・バイン等々。皆さんも来年の夏は、どれかの植物の「緑のカーテン」にチャレンジしてみてもいかがでしょう。

（富山県中央植物園 中田政司）



サンライトホール壁面を覆うノアサガオ

人材の確保・従業員の再就職をお手伝い!

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください。

（定年を控えた高齢者を雇い入れる事業主に助成金が支給されます）



since 1987

出向・移籍（転籍）の専門機関

財団法人 **産業雇用安定センター**

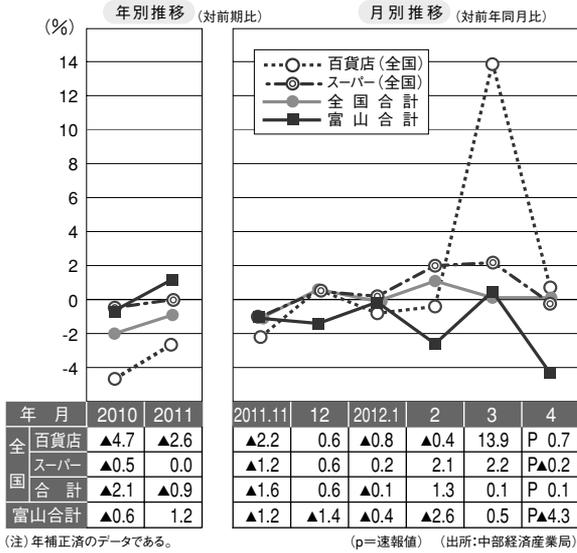
〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F TEL 076-442-6900

ご利用時間/9:00~17:00（土・日・祝日は休み） FAX 076-439-2860

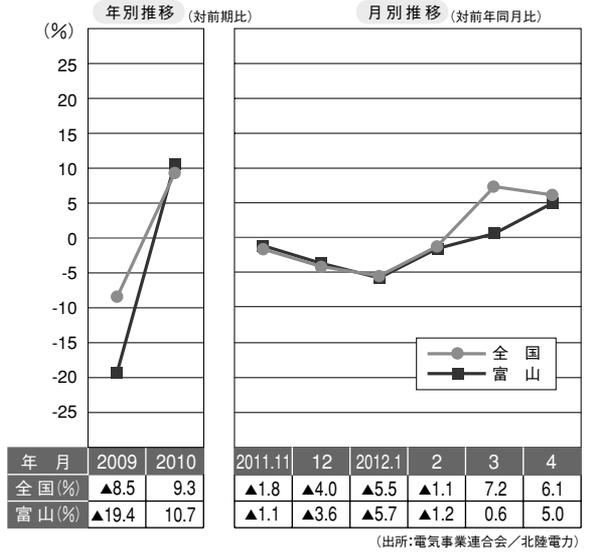
インターネットで最新の人材情報をどうぞ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況指標

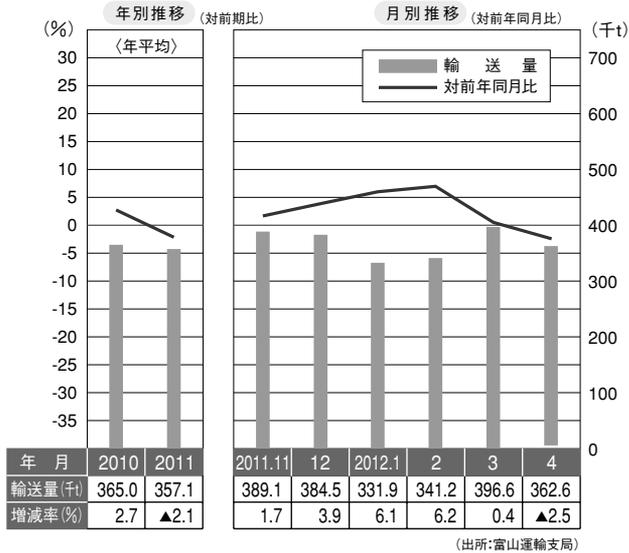
百貨店・主要スーパーの売上高



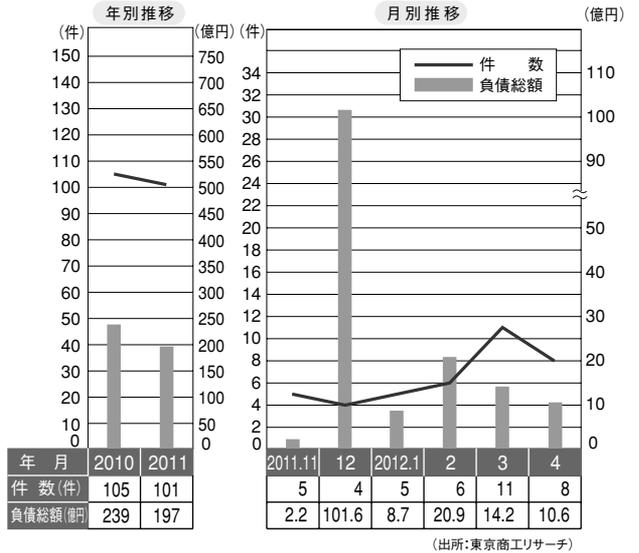
大口電力消費量 (製造業計)



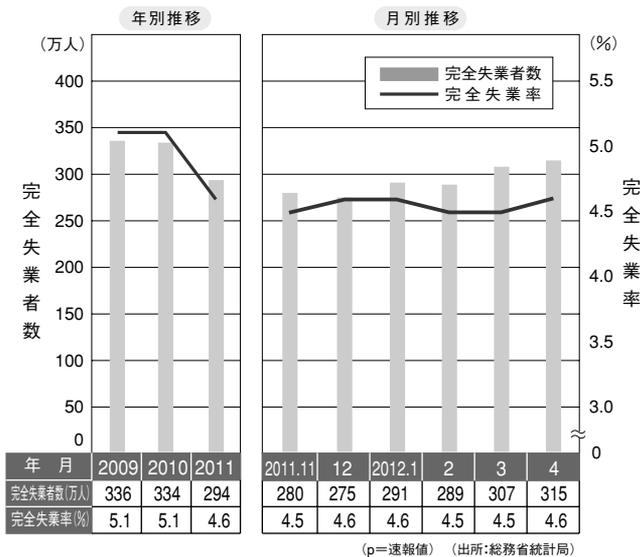
一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



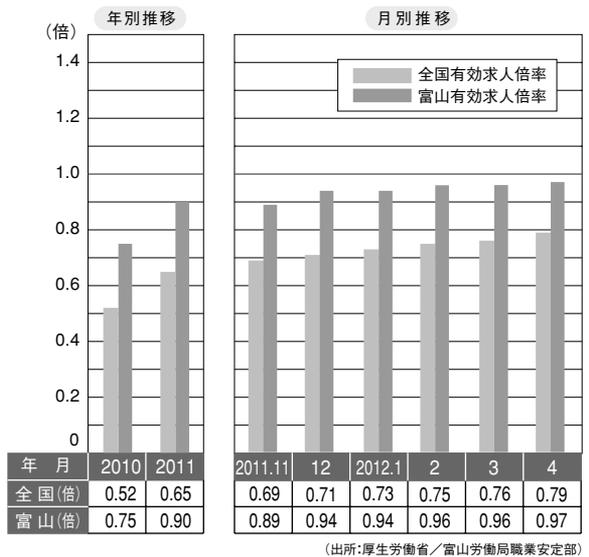
企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



◆臨時総会

場 所：富山第一ホテル 3階 白鳳

富山市桜木町10番10号 TEL(076)442-4411

17:30～17:35

9月12日(水)

(別途ご案内申し上げます)

◆富山地区会員懇談会

場 所：富山第一ホテル 3階 白鳳、天平

17:40～18:40 講演会「プロデューサー的リーダーシップの時代」

講師：株式会社カレントファクトリー

代表取締役 須藤 晃 氏

18:45～20:00 懇親会

行事予定

2012年8月16日～10月25日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・講演案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所	備考	
会 議	8月24日(金)	16:30～	教育委員会 定例委員会	教 育	富山商工会議所ビル		
	8月27日(月)	16:00～	人事・労務政策委員会 定例委員会	人事・労務政策	富山経協・研修室		
	8月30日(木)	15:00～17:00	教育委員会 研究部会	教 育	富山経協・研修室		
	9月12日(水)	17:00～17:25	理事会			富山第一ホテル	
		17:30～17:35	臨時総会			富山第一ホテル	上記おしらせ参照
		17:40～20:00	富山地区会員懇談会				
	9月25日(木)	16:30～18:30	労働法制研究部会	人事・労務政策	富山経協・研修室		
10月 3日(木)	16:00～	経営企画委員会	経営企画	富山経協・研修室			
セ ミ ナ ー ・ 講 座	8月21日(火)	13:00～17:00	BCP事業継続計画作成セミナー(第3回)	経営企画	富山経協・研修室		
	8月23・9月27日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計の手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室		
	8月24・9月21・ 10月12日(金)	9:00～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室		
	8月28～29日(火～水)	9:00～16:30	「ものづくりと現場改善」実践塾	教 育	富山県農業総合研修所		
	9月 6日(木)	9:30～16:30	女性リーダー活性化セミナー	教 育	富山商工会議所ビル		
	9月6日・7日(木・金)	9:30～18:00	ISO14001内部環境監査員養成コース	環 境	富山県農業総合研修所		
	9月7～8日(金～土)	9:00～13:00	管理職マネジメント研修	教 育	富山県農業総合研修所		
	9月18・19日(火・水)	9:30～16:30	ヒューマンエラー対策講座	品質管理	富山県市町村会館		
	9月18日(火)	13:30～20:30	TQM トップミーティング	品質管理	富山第一ホテル		
	9月25日(木)	13:30～16:00	労働法実務研修会	人事・労務政策	富山商工会議所ビル		
	9月27日(木)	13:30～16:30	業務改善セミナー～基礎編～	教 育	富山商工会議所ビル		
	10月3・4日(水・木)	9:30～16:30	第1回係長・主任基礎コース	教 育	富山商工会議所ビル		
	10月4日(木)～25日(木)	9:00～17:00	品質管理入門コース講座(4日間)	品質管理	富山経協・研修室		
	10月16日(火)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修	教 育	富山県農業総合研修所		
	10月17日(水)	9:30～16:30	事務・間接部門の業務改善	教 育	富山商工会議所ビル		
10月19日(金)	9:30～16:30	若手社員活性化コース	教 育	富山商工会議所ビル			
10月22日(月)	9:30～17:00	品質管理未然防止対策セミナー	品質管理	富山県農業総合研修所			

「富山経協」vol.801

2012年(平成24年)8月号
2012年8月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)

TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>Eメール info@toyama-keikyo.jp